YAMAHA



取扱説明書

Mate V50N

4AV-28199-J2

JAU27251

ヤマハ車をお買いあげいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、お買いあげいただいた車の正しい取り扱い方法や安全な運転のしかた、日常点検、簡単な定期点検整備などについて説明してあります。
車は万一取り扱いを誤ると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。
車の正しい取り扱いをご理解いただくため、運転される前に必ず本書をお読みください。
また、メンテナンスノート、セーフティガイド（バイクをより安全にお乗りいただくためのアドバイス）もあわせてお読みください。
本書では、正しい取り扱いおよび点検整備に関する重要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠	**安全にかかわる注意情報を示してあります。**
⚠警　告	**取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。**
⚠注　意	**取り扱いを誤った場合、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。**
要　点	正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。

車の受け取りの際には、お買いあげいただいた販売店から「取扱説明書」「メンテナンスノート」「セーフティガイド」「仮保証書」「車両受け渡し確認書」を受け取り、以下の説明を必ずお受けください。

- 車の正しい取り扱い方法
- 日常点検、定期点検整備
- 保証内容および保証期間
- 正式保証書の発行に関する説明

※車をゆずるときには、次の持ち主のために本書もお渡しください。
※仕様の変更などにより、本書の図や内容が一部実車と異なることがありますのでご了承ください。

もくじ

安全運転のために.....1-1
- あなた自身のために 1-1
- 歩行者と他の車のために 1-4
- 環境・住民の方との調和のために .. 1-5

各部の名称.....2-1
- 左側面 2-1
- 右側面 2-2
- 運転装置と計器類 2-3

各部の取り扱いと操作.....3-1
- キーの取り扱い 3-1
- メインスイッチ 3-1
- 警告灯と表示灯 3-2
- スピードメーターユニット 3-2
- 燃料計“⛽”..... 3-3
- ハンドルスイッチ 3-3
- フューエルタンクキャップ 3-4
- 燃料 3-5
- エンジンオイルの補給 3-6
- フューエルコック 3-6
- チョークレバー“CHOKE”..... 3-7
- キックスターター 3-7
- ハンドルロック 3-8
- ヘルメットホルダー 3-8
- 書類入れ 3-8
- フロントバスケット 3-9
- リヤキャリア 3-9
- サイドスタンド 3-10

日常点検.....4-1
- 日常点検の実施 4-1
- 日常点検箇所／点検内容 4-1

運転操作.....5-1
- 始動と暖機運転（エンジンが冷えている時）.....5-1
- エンジン始動（エンジンが暖まっているとき）...5-1
- 4 ～5 回キックしても始動しないとき 5-2
- ギヤチェンジのしかた 5-2
- シフトダウンのしかた 5-3
- ブレーキ 5-3
- ならし運転 5-4
- 駐車 5-4

点検整備.....6-1
- 点検整備の実施 6-1
- サービスツール 6-2
- カバーの取り外し、取り付け 6-2
- エンジンオイル 6-3
- ミッションオイルの補給 6-3
- エンジンのかかり具合、異音の点検 6-4
- 低速、加速の状態の点検 6-5
- エアクリーナーエレメント 6-5
- タイヤ 6-6
- ブレーキレバーの遊び／ブレーキペダルの遊び、およびブレーキのきき具合の点検 6-8
- ブレーキランプスイッチ 6-9
- ブレーキシューの摩耗点検 6-10
- ドライブチェーン 6-11
- ドライブチェーンの給油 6-12
- バックミラー 6-12
- 車体各部の給油脂状態の点検 6-12
- アンダーブラケットの取り付け状態の点検（ステアリングステム）.....6-13
- バッテリー 6-13
- ヒューズの交換 6-15
- 灯火装置および方向指示灯の点検 6-16
- 運行において異常が認められた箇所の点検 6-16

お車の手入れ 7-1
- 洗 車 7-1
- 保管のしかた 7-2
- アフターケア用品について 7-2

製品仕様 8-1

ユーザー情報 9-1
- 二輪車を廃棄する場合は？ 9-1
- サービスマニュアル（別売）の紹介 9-2
- 車両情報 9-2

JAU27280

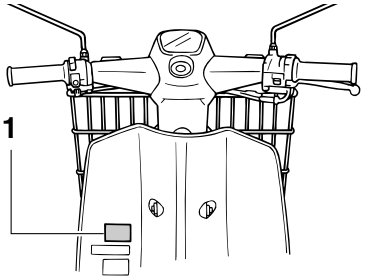
この章には、特に知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことなどの基本的なアドバイスを述べてあります。運転するときには、次のことを守って安全運転および上手な操作を心がけてください。
安全運転とは、交通ルールを守ることだけでなく、ほかの人々が安全に通行できるように配慮することです。

JAU27323

あなた自身のために

安全項目ラベルについて

運転に慣れてきますと、いろいろな注意を忘れがちになり、事故を起こすことがあります。
車に乗るときには、安全項目ラベルの注意事項をいつも守り、安全運転に心がけてください。



1. 安全項目ラベル

⚠ 警 告

- 取扱説明書をよく読んで安全な運転をしましょう。
- ヘルメットを正しくかぶりましょう。
- マフラーは熱くなります。人が触れにくい場所に駐車する等の配慮をしましょう。
- ヘッドランプを昼間はロービーム点灯しましょう。
- 違法改造はやめましょう。
- 定められた点検整備をメンテナンスノートに従って励行しましょう。

安全運転は正しい服装から

- ヘルメットは必ず着用してください。ヘルメットは S または SG、JIS マークのある二輪車用を必ず着用してください。ヘルメットは正しくかぶり、必ずあごひもをしめます。頭にしっくり合って、圧迫感のないものが最適です。
- グローブを必ず着用してください。グローブは、摩擦に強い皮製のものが適しています。
- ヘルメットにシールドを着用してください。着用できないときは、ゴーグルを使用してください。
- 運転する服装は保護性の高い服で、明るく目立つ色で動きやすく、体の露出が少ない長袖・長ズボンを着用してください。疲労を少なくし、万一の転倒時には身体を保護します。ズボンのすそや袖口の広い服は運

転操作のじゃまになり、思わぬ事故の原因にもなりますので避けてください。



● 靴はかかとが低く、運転操作がしやすいものを着用してください。また、くるぶしまで覆われていて足にピッタリしたものを選んでください。

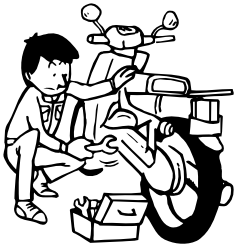
JWA11590

⚠警 告

ヘルメットを正しくかぶっていないと、万一の事故の際、死亡または重傷に至る可能性が高くなります。運転者は、必ずヘルメットをかぶり、正しい服装で乗車してください。

日常点検、定期点検整備を必ず実施してください。

事故や故障を防ぐため、法令で定められた 1 日 1 回ご使用前に行う日常点検と、法令で定められた 6 か月、12 か月ごとに行う定期点検は必ず実施してください。



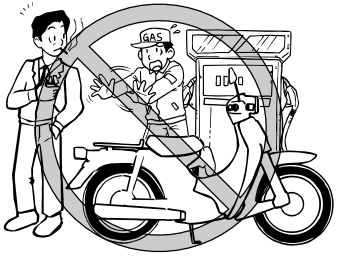
車の異状

次のような場合は、車が故障しているおそれがあります。そのままにしておくと、走行に悪影響をおよぼしたり、事故につながるおそれがあり危険です。販売店で点検・整備を受けてください。

● 異音がしたり、異臭や異常な振動があるとき。
● 地面にオイルなどが漏れた跡があるとき。
● 燃料、冷却水のにじみまたは漏れた跡があるとき。

給油時は火気厳禁

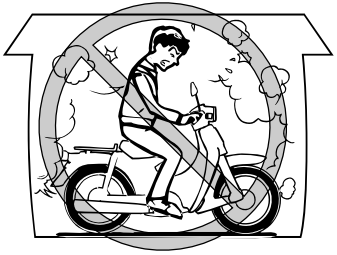
ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。



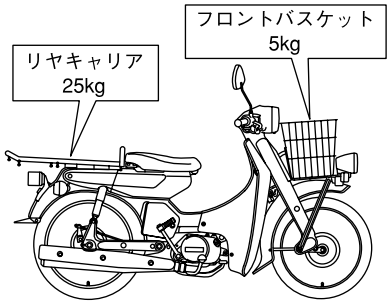
風通しの悪い場所でエンジンを始動しない

排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。

風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。



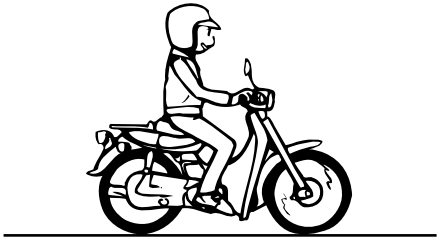
荷物はしっかり固定する



- 上記以外の場所には荷物を積まないでください。
- 荷物を積むと、積まないときにくらべて操縦安定性が変わります。荷物を積みすぎると、ハンドルが振られたりして危険です。積みすぎないように注意してください。
- フロントバスケットから荷物が出ないように注意してください。ハンドル操作の妨げとなったり、ヘッドライトや方向指示灯の配光に支障をきたすことがあります。また、ライトの熱によりヘッドライトのレンズが変色、溶損したり、荷物にまでその不具合がおよぶこともあります。

両手はハンドル、両足はフットレスト

運転するときは、両手でハンドルを握り、両足をフットレストにのせます。

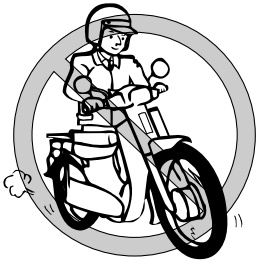


押して移動するときはギヤをニュートラルにする

車から降りて押して移動するときはエンジンを止めてください。

やむをえずエンジンをかけたまま移動するときは、必ずギヤをニュートラルにしてください。

ギヤが入ったまま押して移動すると思わぬ事故の原因となります。



乗車定員は 1 名

運転者以外に人を乗せることは道路交通法によって禁じられています。



法定最高速度は 30km/h

車の速度が法定最高速度（30km/h）以上になると、スピードメーター部の速度警告灯が点滅し、運転者に注意をうながします。

急激なハンドル操作や片手運転はしない
急激なハンドル操作や片手運転は、横すべりや転倒の原因となります。絶対にしないでください。



誤った方法でエンジンを停止しない
誤った取り扱いをすると、マフラーの中の触媒装置が異常に高温になり、損傷するおそれがあります。次のような操作はしないでください。

- 走行中にメインスイッチでエンジンを停止する。
- 空ぶかし直後にエンジンを停止する。

自己流のエンジン調整、部品の取り外しはしない
エンジン調整はヤマハ販売店におまかせください。

JCA15220

⚠注　意

部品交換が必要な場合は正規の規格のものを使用するよう、販売店へ依頼してください。規格が異なった部品を使用すると、故障などの原因となります。

自賠責保険に必ず加入
自賠責保険（共済）に加入することは法令で定められています。万一の事態に備えて必ず加入してください。
また、保険の期限切れにも注意してください。

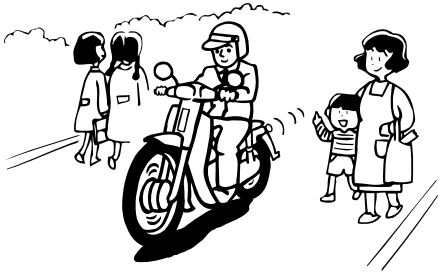


JAU27501

歩行者と他の車のために

他の人への思いやり

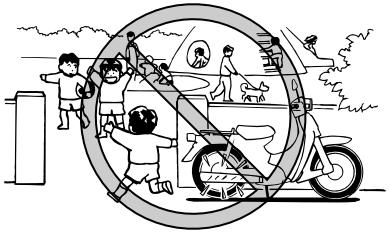
- 交通ルールを守り、まわりの歩行者や車の動きに注意し、相手の立場について思いやりの気持ちをもって通行しましょう。
- 周囲の状況に注意して、安全なスピードで走行してください。歩行者や自転車のそばを通るときは、安全な距離を保つか徐行してください。



駐車

- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。また、チェーンロックなどのサイクルロックも同時に使用することをおすすめします。
- 交通のじゃまにならない場所に駐車してください。

- 平坦な場所に駐車してください。やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。
- 車から離れる前に、スタンドが確実にセットされているかを確認してください。



JWA12240

警　告

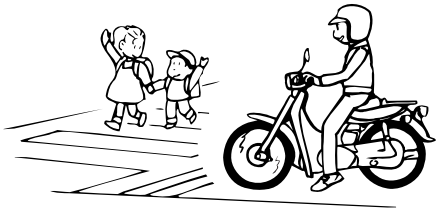
- **エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触れるとヤケドをすることがありますので、注意してください。また、物などが直接触れないようにしてください。**
- **駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。**
- **マフラーの中の触媒装置は高温になります。枯れ草や紙、オイル、木材など、燃えやすいものがある場所には駐車しないでください。**

JAU27580

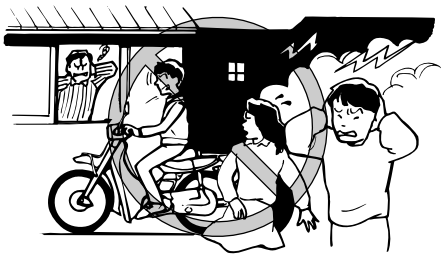
環境・住民の方との調和のために

住民の方への思いやり

自分の都合だけを考えて、沿道の方に不愉快な騒音などの迷惑をかけないでください。

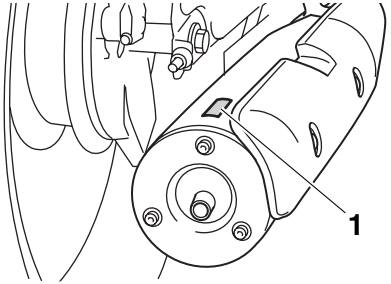


特に深夜の住宅街や人通りの多い道路などで長時間のアイドリングや急発進などを行うと、迷惑になりますのでしないでください。



違法改造はしない

- 違法改造は法律により禁止されています。改造は操縦安定性を悪くしたり、排気音を大きくして車の寿命を縮めたり、重大な事故や故障の原因となります。また、改造すると車の保証が受けられません。
- この車は、排出ガス規制適合車です。マフラーには排出ガスを浄化する触媒装置が内蔵されています。他のマフラーをこの車に取り付けると、排出ガス規制に適合しなくなる可能性があります。マフラーを交換する場合は、お買い上げのヤマハ販売店にご相談ください。なお、ヤマハ純正部品のマフラーには“YAMAHA”マークが刻印されています。



1. “YAMAHA”マーク

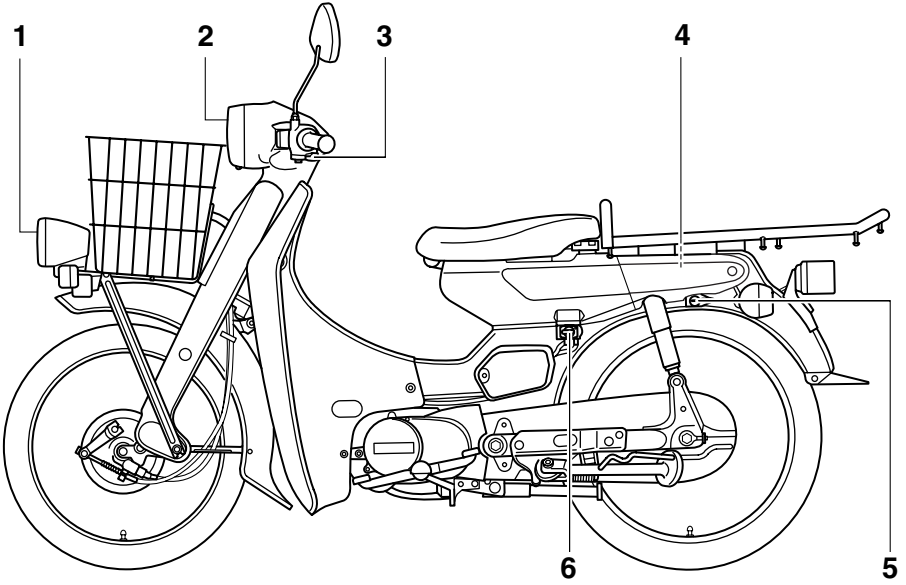
環境への配慮

廃車をするときや、バッテリー、廃油などの廃棄処理をするときは、環境保護のためお買い上げのヤマハ販売店にご相談ください。

各部の名称

JAU10410

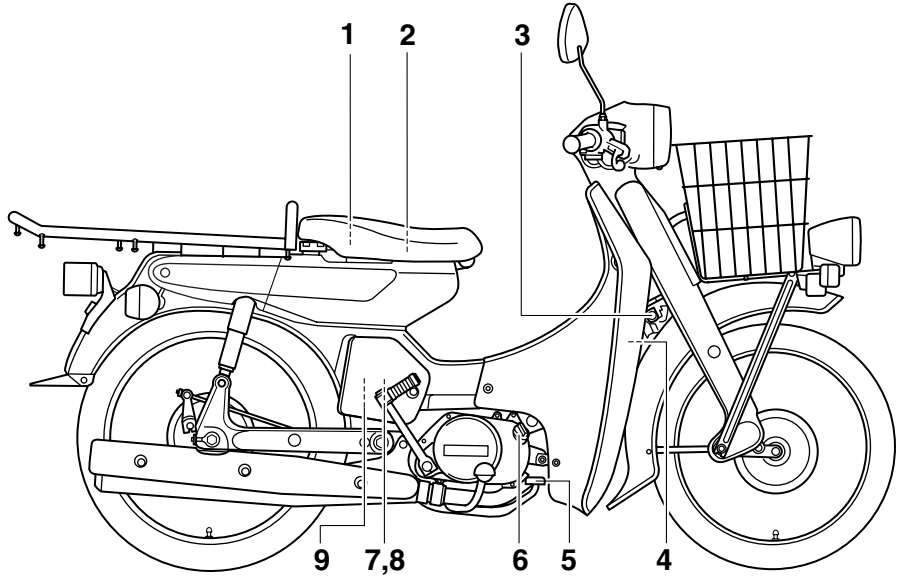
左側面



1. ヘッドライト
2. 手元灯
3. チョークレバー（P3-7）
4. サービスツール（P6-2）
5. ヘルメットホルダー（P3-8）
6. フューエルコック（P3-6）

JAU10420

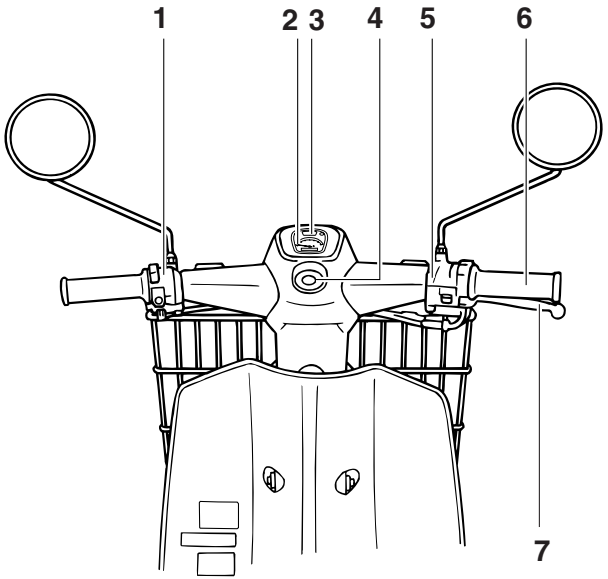
右側面



1. オイルタンクキャップ（P3-6）
2. フューエルタンクキャップ（P3-4）
3. ハンドルロック（P3-8）
4. エアクリーナーエレメント（P6-5）
5. 後輪ブレーキペダル（P6-8）
6. ミッションオイル注入口（P6-3）
7. バッテリー（P6-13）
8. ヒューズ（P6-15）
9. 書類入れ（P3-8）

JAU10430

運転装置と計器類



1. ハンドルスイッチ（左）（P3-3）
2. スピードメーター（P3-2）
3. 燃料計（P3-3）
4. メインスイッチ
5. ハンドルスイッチ（右）（P3-3）
6. スロットルグリップ
7. 前輪ブレーキレバー（P6-8）

JAU31080

キーの取り扱い

- キーは車の操作や保管をするときなどに使用する大切なものです。キーを紛失しないように、充分に注意してください。
- キーは 2 本付属しています。1 本は予備として大切に保管してください。
- 1 本のキーを紛失または破損したときは、販売店またはキーショップなどで新しい予備キーを作っておいてください。
- キーを 2 本とも紛失または破損したときは、販売店にご相談ください。



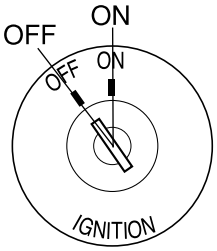
JCA12500

⚠注　意

金属製等のキーホルダーをつけると、車体を傷つけるおそれがあります。

JAU10450

メインスイッチ



メインスイッチはエンジンの始動と停止、ブレーキランプや方向指示灯などの電源の「入 / 切」を行います。

JWA11610

⚠警　告

走行中にメインスイッチを OFF の位置にすると、電気系統の作動が停止し、事故につながるおそれがあります。メインスイッチは必ず停車中に操作してください。

JCA11970

⚠注　意

- **盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。**
- **エンジンをかけないでメインスイッチを ON のままにしたり、エンジン始動後アイドリング状態を長時間続けると、バッテリーあがりの原因となります。注意してください。**

JAU38290

ON

全ての電気回路に電源が供給され、エンジンを始動させることができます。キーを抜くことはできません。

要　点

エンジンが始動するとヘッドライト、手元灯、テールランプ、メーター灯が自動的に点灯します。

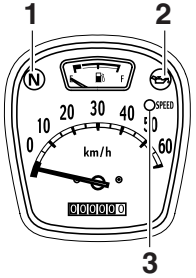
JAU10660

OFF

全ての電気回路がオフになり、エンジンが停止します。キーを抜くことができます。

JAU11003

警告灯と表示灯



1. ニュートラルランプ“**N**”
2. エンジンオイル量警告灯“”
3. 速度警告灯“SPEED”

JAU11060

ニュートラルランプ“N”

ギヤがニュートラルのとき点灯します。

JAU11111

エンジンオイル量警告灯“”

エンジンオイル量が少なくなると点灯します。

警告灯の電気回路は、以下の手順に従って、点検することができます。

1. メインスイッチを ON にします。
2. ギヤをニュートラルの位置にします。
3. 警告灯が点灯しないときは、ヤマハ販売店で電気回路の点検を受けてください。

要　点

エンジンオイル量が充分であっても、坂道を走行しているときや急な加減速の間は、警告灯が点滅することがありますが、これは異常ではありません。

JCA11840

注　意

走行する前に、エンジンオイル量が充分であることを確認してください。

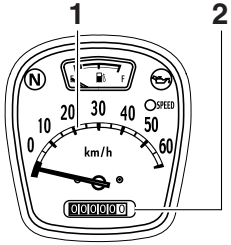
JAU38070

速度警告灯“SPEED”

車の速度が 30km/h を超えると点滅し、運転者に注意をうながします。

JAU11621

スピードメーターユニット

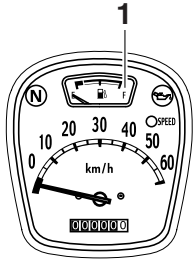


1. スピードメーター
2. オドメーター

スピードメーターユニットにはスピードメーターとオドメーターが装備されています。スピードメーターは車の速度を示します。オドメーターは走行した総距離を示します。

JAU38511

燃料計“⛽”



1. 燃料計

ガソリンの残量を示します。
指針が“E”に近づいたら、早めに補給してください。

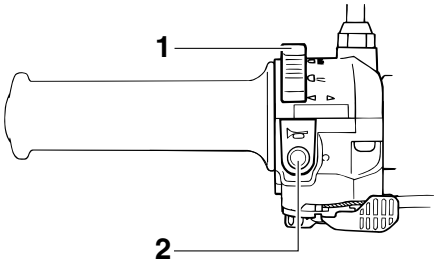
要　点

- 燃料計はメインスイッチがONのときにだけ作動します。OFF のときは指針が“E”より下側に移動します。
- 残量の確認は、平坦な場所でメインスタンドを立て、メインスイッチを ON にしてください。

JAU12344

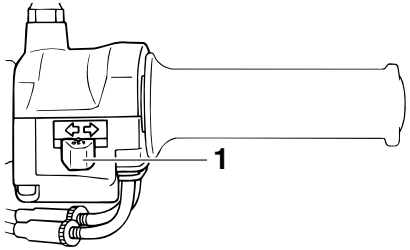
ハンドルスイッチ

左



1. ヘッドライト上下切り替えスイッチ“≡O/O≡”
2. ホーンスイッチ“📯”

右



1. 方向指示器スイッチ“⇦/⇨”

JAU12400

ヘッドライト上下切り替えスイッチ“≡O/O≡”

ヘッドライトの配光を上向き、下向きに切り替えるスイッチです。
≡O（上向き）：遠くを照らします。
O≡（下向き）：近くを照らします。

要　点

先行車や対向車があるときは、ヘッドライトを下向き“O≡”にしてください。

JAU35970

方向指示器スイッチ“⇦ ⇨”

進路変更の合図に使用します。
操作は、進路変更する側にスイッチをスライドさせます。
消灯するときは、スイッチを押します。
⇨：右側の方向指示灯が点滅します。
⇦：左側の方向指示灯が点滅します。

要　点

方向指示器を使用すると“カチカチ”音がします。

JWA11640

⚠警　告

方向指示灯は自動的に消灯しません。使用後は、必ず消灯してください。点滅したままに

しておくと、他のかたの迷惑になります。

JCA11980

⚠注　意

電球を交換するときは、正規のワット数のものを使用してください。これ以外のものを使用すると、正常に作動しません。

JAU12500

3

ホーンスイッチ“ ”

スイッチを押すとホーンが鳴ります。

要　点

必要なときにのみ使用してください。

JAU13141

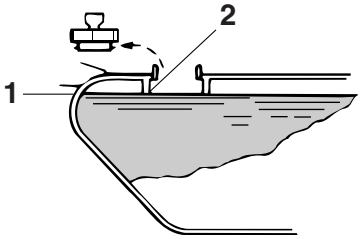
フューエルタンクキャップ

JWA12170

⚠警　告

給油時およびガソリンを取り扱う場合は、次のことを必ず守ってください。

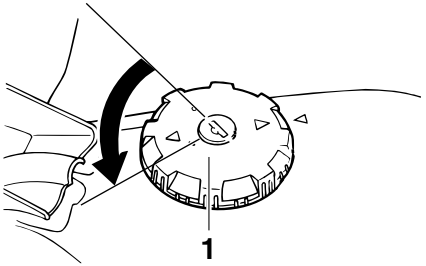
- **給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。**
- **フューエルタンクキャップを開ける前に、車体などの金属部分に触れて静電気の除去を行ってください。身体に静電気を帯びた状態で給油すると、放電による火花で引火する場合があり、ヤケドするおそれがあります。**
- **給油操作は、必ず一人で行ってください。複数で行うと静電気が除去できない場合があります。**
- **給油は、必ず屋外で行ってください。**
- **給油限度を超えてガソリンを入れないでください。走行中にガソリンがにじみ出ることがあり危険です。**
- **給油後、フューエルタンクキャップを確実に閉めてください。**



1. 給油限度
2. フィラーチューブ

フューエルタンクキャップの取り外しかた

1. シートを開けます。
2. キーをロックに差し込み、反時計方向に 1/4 回します。



1. フューエルタンクキャップ

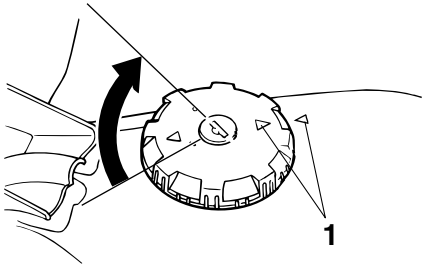
3. フューエルタンクキャップを反時計方向に 1/3 回し、キャップを取り外します。

フューエルタンクキャップの取り付けかた

1. フューエルタンクキャップを注入口に挿入し、時計方向に 1/3 回します。

要　点

キャップ側と車体側の合マークが合う位置まで回します。



1. 合マーク

2. キーを時計方向に 1/4 回し、キーを抜きます。

要　点

キーを抜き取ると、フューエルタンクキャップを閉めることはできません。また、フューエルタンクキャップを正しく閉めないと、キーを抜くことはできません。

3. シートを閉めます。

JAU31460

燃料

JAU28280

指定燃料

指定燃料：
　無鉛レギュラーガソリン
タンク容量：
　約 5.0 L
予備容量：
　約 0.7 L

JCA12510

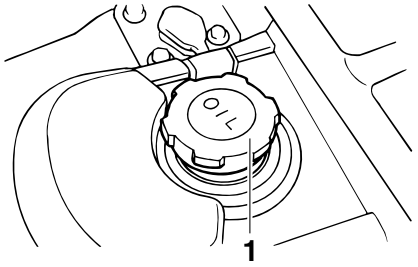
⚠注　意

- **必ず指定燃料を使用してください。指定以外の燃料を使用するとエンジンの始動性が悪くなったり、出力低下などのエンジン不調の原因となる場合があります。また、エンジンや燃料系の部品を損傷するおそれがあります。**
- **こぼれたガソリンは、布切れなどできれいにふき取ってください。**
- **タンクにゴミやチリなどの不純物が入らないように注意してください。**

JAU28351

エンジンオイルの補給

1. シートを開けます。
2. オイルタンクキャップを外し、エンジンオイルを補給します。



1. オイルタンクキャップ

オイルタンク容量：
1.2 L
推奨オイル：
ヤマハオートルーブスーパービジネスオイル、ヤマハオートルーブスーパーオイルもしくは JASO2 サイクルエンジンオイル規格FC グレード

JCA12020

▲注　意

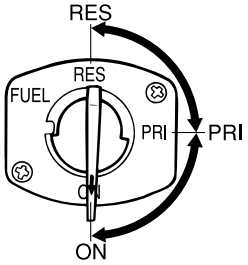
● 走行中にエンジンオイル量警告灯が点灯したら、早めにエンジンオイルを補給してください。
● エンジンオイルの補給時は、必ずエンジンを止めて、火気を近づけないでください。
● オイルの補給は、オイルタンクの口元からあふれさせないよう慎重に行ってください。
● オイルが不足したまま走行すると、エンジン故障の原因となりますので、必ずエンジンオイル量を点検してください。
● 銘柄やグレードの違うオイルを混入させたり、低品質オイルを使用しないでください。
● オイルタンクキャップは確実に取り付けてください。走行中にオイルがにじみ出ることがあります。

3. オイルタンクキャップを閉めます。
4. シートを閉めます。

JAU13581

フューエルコック

この車のフューエルコックは自動コックです。ON および RES の位置でエンジンが停止すると、自動的にガソリンの流れが止まります。



ON

始動および走行時のレバー位置です。

RES

予備燃料（予備容量約 0.7 L）のレバー位置です。
ON で走行中にガソリンがなくなったら、レバーをこの位置にします。予備燃料が使用できますが早めに給油してください。給油を終えたらレバーを ON に戻してください。

PRI

RES の位置でガソリンがなくなり、給油するときにこの位置にします。（給油後の始動

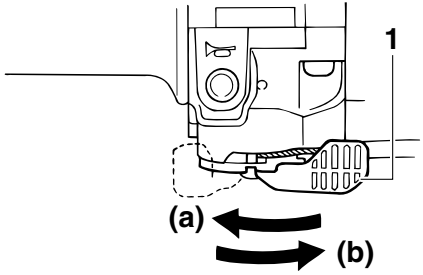
が容易になります。）
給油を終えたらレバーをONに戻してください。

要　点

ON で走行中にガソリンがなくなったときは、約1分間レバーを PRI にしてから RES にしてください。始動が容易になります。

JAU13630

チョークレバー“CHOKE”

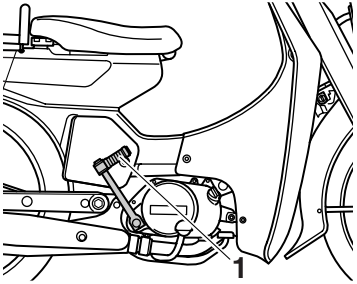


1. チョークレバー

エンジンが冷えているときは、チョークを使用すると始動が容易になります。
レバーを (a) 方向に移動させ、チョークをオンにします。
レバーを (b) 方向に移動させ、チョークをオフにします。

JAU13680

キックスターター

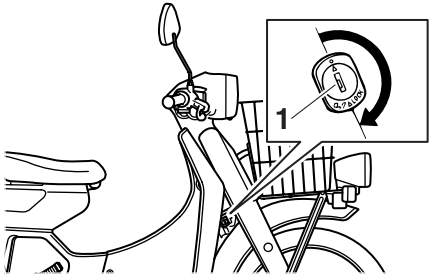


1. キックスターター

キックスターターレバーを出し、力強くキックします。

JAU13710

ハンドルロック



1. ハンドルロック

ハンドルロックのしかた

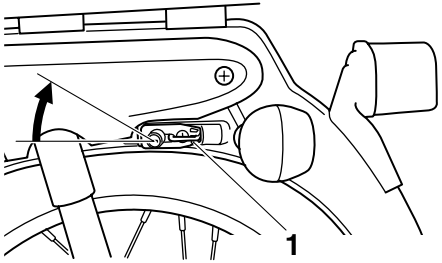
1. ハンドルを左にいっぱいに切ります。
2. キーをステアリングヘッドパイプの下のハンドルロックに差込み、1/2 回します。
3. ハンドルがロックされていることを確認し、キーを抜きます。

ハンドルロックの解除のしかた

1. キーをハンドルロックに差込みます。
2. 1/2 回します。
3. キーを抜きます。

JAU14281

ヘルメットホルダー



1. ヘルメットホルダー

キーでロックを解除し、ヘルメットのあごひもの金具部分を掛けてロックします。

JWA11650

⚠警　告

ヘルメットをヘルメットホルダーに掛けたまま走行しないでください。ヘルメットが運転を妨げ、思わぬ事故の原因になったり、車の部品に損傷を与えたり、またヘルメットにも損傷を与え保護機能を低下させます。

要　点

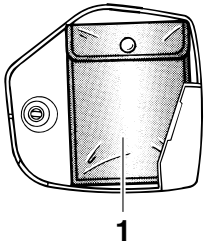
ヘルメットホルダーは、常にロックしておいてください。

JAU28400

書類入れ

カバー B の裏側に書類入れ（収納用ポーチ）があります。（カバーの取り外しは 6-2 ページを参照）

自賠責保険証、メンテナンスノートは二つ折りにし、ビニール袋に入れてここに保管してください。

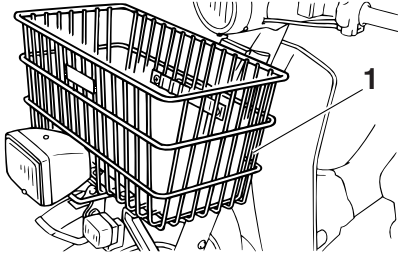


1. ポーチ

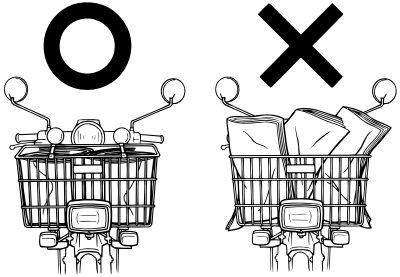
JAU38500

フロントバスケット

フロントバスケットから荷物が出ないように注意してください。



1. フロントバスケット



JWA14240

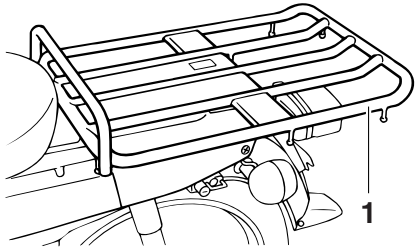
警告

● フロントバスケットに積める荷物は 5kg までです。

● 荷物を積みすぎると、荷くずれを起こしたりハンドルを取られたりして危険です。

JAU15110

リヤキャリア



1. リヤキャリア

リヤキャリアに荷物を積むときは、ひもなどでしっかり固定してください。

JWA11690

警告

リヤキャリアに積める荷物は 25kg までです。

JAU37490

サイドスタンド

サイドスタンドはフレームの左側にあります。車を直立にした状態で、足でサイドスタンドを上げ下げします。

JCA13120

⚠注　意

サイドスタンドがスムーズに作動しないときは、取付部に注油してください。

JWA14250

⚠警　告

- **サイドスタンドを出したまま走行すると、スタンドが地面に接触して運転操作に支障をきたすことがあり、たいへん危険です。**
- **走行中にサイドスタンドを操作すると、思わぬ事故の原因となります。走行中はサイドスタンドを操作しないでください。**

JAU15591

日常点検の実施

車を安全で快適に使用いただくため、道路運送車両法で、1日1回の日常点検を行うことが義務づけられています。
必ず実施してください。

JWA12030

⚠警　告

- **日常点検を怠ると重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。**
- **異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

要　点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。）

JAU30041

日常点検箇所／点検内容

詳しい点検の方法は、6-1 ページ以降の点検整備の方法および別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

点検箇所	点検内容
ブレーキ	● ブレーキペダルの踏みしろおよびレバーの握りしろが適切で、ブレーキのききが充分であること。
タイヤ	● タイヤの空気圧が適当であること。 ● 亀裂、損傷がないこと。 ● 異常な摩耗がないこと。 ● 溝の深さが充分あること。（※）
エンジン	● エンジンオイルの量が適当であること。（※） ● かかり具合が良好で、かつ、異音がないこと。（※） ● 低速、加速の状態が適当であること。（※）
灯火装置および方向指示灯	● 点灯または点滅具合が良好で、かつ、汚れや損傷がないこと。
運行において異常が認められた箇所	● 当該箇所に異常がないこと。

（注）

※印の点検は車の走行距離、運行時の状態などから判断した適切な時期（長距離走行時や洗車、給油後など）に実施をしてください。

JWA11731

⚠警　告

安全のため、ご自身の知識、技量にあわせた範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。点検整備するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

- **点検は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。**
- **エンジン停止直後は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。直接触れたりしないでください。ヤケドに注意してください。**
- **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。**
- **走行して点検するときは、交通状況に注意してください。**
- **異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

JAU38540

始動と暖機運転（エンジンが冷えている時）

JWA14260

⚠警　告

- **ギヤチェンジをニュートラルにしないと、キックしたときに飛び出しや転倒することがあります。必ずニュートラルを確認してエンジンを始動してください。**
- **サイドスタンドをおろした状態で走行しないでください。**

1. フューエルコックを ON （または RES）にします。
2. メインスイッチを ON にします。
3. ギヤをニュートラルの位置にシフトします。

要　点

ギヤをニュートラルにしたとき、ニュートラルランプが点灯しない場合、ヤマハ販売店で電気回路の点検を受けてください。

4. チョークをオンにし、スロットルを完全に閉めます。（3-7 ページ参照）
5. キックして、エンジンを始動させます。
6. エンジンが始動したら、20 ～ 30 秒後にチョークを途中まで戻します。

JCA12590

⚠注　意

エンジンを長持ちさせるため、発進の前には常にエンジンを暖機してください。エンジンが冷えている間の無用な空ふかしは避けてください。

7. エンジンが充分暖まり、エンジンの回転が安定したら、チョークをオフにします。

JAU16640

エンジン始動（エンジンが暖まっているとき）

エンジンが暖まっているときは、チョークを必要としないことを除いて、エンジンが冷えている時のエンジン始動と同じ手順で行います。

JAU38550

4～5回キックしても始動しないとき

チョークレバーを元に戻し、スロットルグリップをいっぱいに開けると始動しやすくなります。

JCA13040

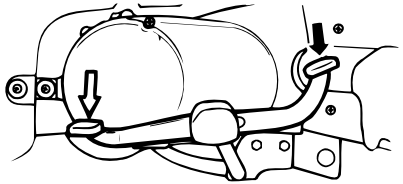
⚠注　意

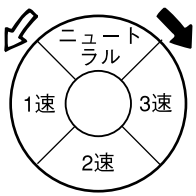
エンジンが始動したら、スロットルグリップをすばやく戻してください。

JAU27471

ギヤチェンジのしかた

この車はロータリー式の3段変速です。
ギヤチェンジはスロットルグリップを一度戻し、シフトペダルで操作します。





以下は、ギヤチェンジの速度目安を示したものです。

速度目安：
1速：
0km/h ～ 18km／h
2速：
13km/h ～ 30km／h
3速：
20km／h以上

JCA12280

⚠注　意

- **シフトペダルは、足ごたえがあるまで確実に操作してください。**
- **無理なギヤチェンジは、チェンジ機構の故障の原因になります。**
- **ギヤチェンジは、必ずスロットルグリップを一度戻してから行ってください。**

要　点

ニュートラルのポジションは、メーター内のニュートラルランプの点灯で確認できます。

5

JAU27570

シフトダウンのしかた

追い越しや登坂時などにシフトダウン（低速ギヤにチェンジ）をすると、強力な加速力および登坂力が得られます。なお、高速で急激なシフトダウンを行うと、エンジンの回転が上がりすぎてエンジンやミッションに悪影響を与えます。
以下はシフトダウンの速度目安を示したものです。

速度目安：
3速→2速：
30km／h以下
2速→1速：
15km／h以下

JWA11720

⚠警　告

急激なシフトダウンは走行安定性をそこない、転倒などの原因となりますのでしないでください。

JCA12040

⚠注　意

ギヤチェンジは、必ずスロットルグリップを一度戻してから行ってください。スロットルグリップを戻さずに強引なギヤチェンジを行うと、エンジントラブルの原因となります。

JAU33170

ブレーキ

1. スロットルを完全に閉じます。
2. 前輪ブレーキと後輪ブレーキを同時に、徐々にかけます。

JWA11570

⚠警　告

- **急なブレーキは避けてください（特にどちらか一方に傾いている時）。横すべりや転倒の原因となります。**
- **踏切、路面電車のレール、道路建設現場の鉄製のプレート、マンホールのフタなどは、濡れているときは極端に滑りやすくなります。そのようなところでは減速し、注意して走行してください。**
- **濡れた路面では、ブレーキが効きにくいことを留意してください。**
- **下り坂でのブレーキ操作は非常に困難です。坂道では減速してください。**

JAU31470

ならし運転

JAU27700

ならし運転のしかた

初回1か月目（または 1000km 走行まで）の点検までは、ならし運転をしてください。また、不要なからふかしや急加速、急減速はしないでください。
ならし運転を行うと車の寿命を延ばします。以下は、ならし運転のギヤチェンジの速度目安を示したものです。

速度目安：
1速：
0km/h ～ 15km ／ h
2速：
13km/h ～ 25km ／ h
3速：
20km/h ～ 30km ／ h

JAU17212

駐車

駐車するときは、エンジンを止め、キーをメインスイッチから抜きます。

JWA11580

⚠警　告

- **エンジンやマフラーは高温になります。通行する人などが触れない場所に駐車してください。**
- **傾斜地や地面が柔らかいところには駐車しないでください。車が転倒することがあります。**

JCA11930

⚠注　意

草や可燃物等の火災の危険がある場所には、決して駐車しないでください。

JAU29832

点検整備の実施

日常点検

4-1 ページ「日常点検箇所／点検内容」の表にしたがって、１日１回実施してください。点検の方法については、本書の以降のページや、別冊「メンテナンスノート」の点検整備のしかた以降のページを参照してください。

定期点検整備

定期点検整備は車を使用する人が自己管理責任で定期的に行う点検整備で、法または法に準じて行うことが義務づけられています。二輪自動車または原動機付自転車については、6 か月点検と１２か月点検の 2 種類があります。

定期点検項目と基本的な点検内容は別冊の「メンテナンスノート」に記載してあります。ここでは、この車独自の内容を補足説明しています。実際の点検作業にあたっては、別冊「メンテナンスノート」とあわせてご使用ください。

JWA12051

⚠警　告

- **点検整備を怠ると重大な事故、ケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。**
- **安全のため、ご自身の知識、技量にあわせた範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。**

点検するときは安全に充分注意し、以下の内容を守ってください。

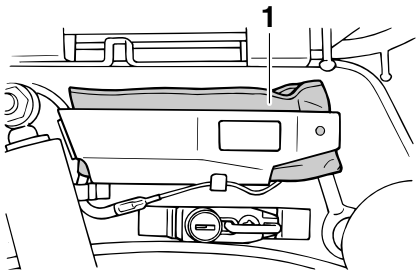
- **点検は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。**
- **エンジン停止直後の点検は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。**
- **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。**
- **走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。**
- **異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

要　点

- 点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。）
- 点検結果は、別冊「メンテナンスノート」の定期点検整備記録簿に記入してください。ご自身でできない項目については、ヤマハ販売店で点検を受け、記録してください。
- 点検の記録は廃車されるまで保存してください。
- メーカー指定項目の点検結果は、定期点検整備記録簿の「その他」の欄に記録してください。

JAU17340

サービスツール



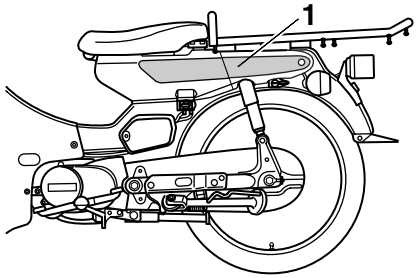
1. サービスツール

サービスツールはカバーA の後ろ側にあります。(カバーの取り外しは 6-2 ページ参照)

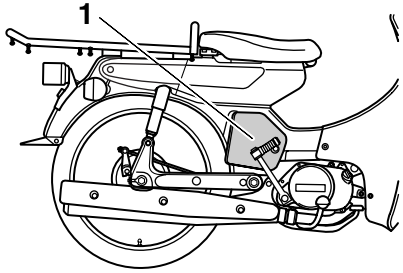
JAU18751

カバーの取り外し、取り付け

図のカバーは、点検整備などで取り外す必要があります。カバーを取り外すときや、取り付けるときは、この項目を参照してください。



1. カバー A



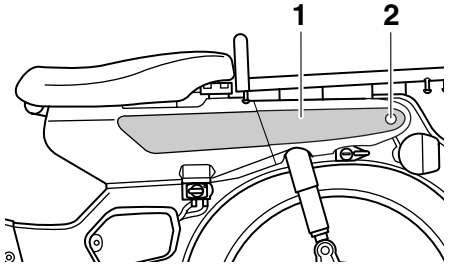
1. カバー B

JAU38520

カバー A

カバーの取り外しかた

スクリューを外し、カバーを取り外します。



1. カバー A
2. スクリュー

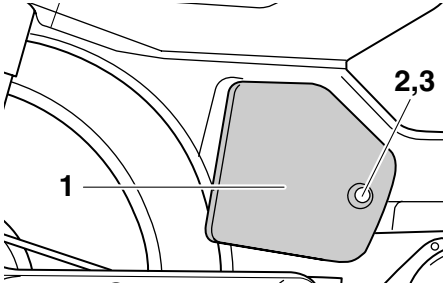
カバーの取り付けかた

カバーを取り付け、スクリューを締め付けます。

カバー B

カバーの取り外しかた

スクリューとワッシャーを外し、カバーを取り外します。



1. カバー B
2. スクリュー
3. ワッシャー

カバーの取り付けかた

カバーとワッシャーを取り付け、スクリューを締め付けます。

JAU30070

エンジンオイル

エンジンオイル量の点検

エンジンオイル量警告灯が点灯したら、早めにエンジンオイルを補給してください。

JAU30650

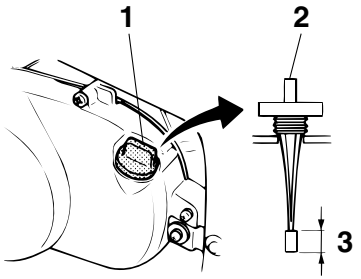
ミッションオイルの補給

1. 平坦な場所でメインスタンドを立て、エンジンを 2 ～ 3 分間アイドリング運転します。

要　点

走行直後でエンジンを充分に暖機してあれば、アイドリング運転は不要です。

2. エンジンを止めて 2 ～ 3 分後、車を垂直にしてミッションオイル量を点検します。
3. オイルレベルゲージでオイル量を確認し、規定量以下のときはオイル注入口から補給します。



1. ミッションオイル注入口
2. オイルレベルゲージ
3. 規定範囲

推奨オイル：
ヤマハギヤオイル

JWA11860

⚠警　告

- **走行後やエンジン暖機運転後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。**
- **油脂類の廃液は、法令（公害防止条例）で適切な処理を行うことが義務づけられています。ヤマハ販売店にご相談ください。**

ミッションオイル量：
交換時：
0.65 L
O/H 時：
0.70 L

JAU30690

エンジンのかかり具合、異音の点検

エンジンがすみやかに始動し、スムーズに回転するかを点検します。
エンジンから異音がしないかを点検します。

JAU30700

低速、加速の状態の点検

暖機運転後に、アイドリングがスムーズに続くかを点検します。

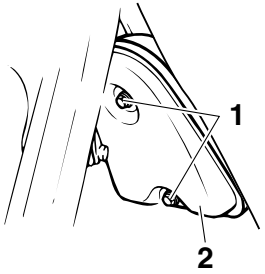
スロットルグリップを徐々に回してエンジンを加速したとき、スロットルグリップもエンジンもスムーズに回るかを走行などして点検します。このとき、エンジンストップ（エンスト）やノッキングなどが起きたら、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU30910

エアクリーナーエレメント

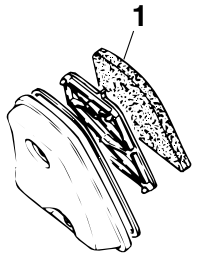
エアクリーナーエレメントの清掃のしかた

1. ボルトを外し、エアクリーナーケースカバーを取り外します。



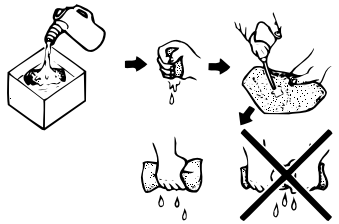
1. ボルト
2. エアクリーナーケースカバー

2. エアクリーナーエレメントを取り外します。



1. エアクリーナーエレメント

3. エアクリーナーエレメントをきれいな灯油で洗浄し、軽くしぼります。



JWA12250

⚠警　告

ガソリンや引火性の高い洗浄剤は引火のおそれがありますので、使用しないでくださ

い。

4. エアクリーナーエレメントに損傷がないか点検します。損傷している場合は交換します。
5. ME-R フィルターオイルをエアクリーナーエレメントの表面全体に塗布してから、布切れなどで包み、しぼります。
6. エアクリーナーエレメントをエアクリーナーケースに取り付けます。

JCA11940

⚠注 意

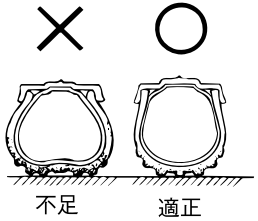
- **破れなどのあるものは交換してください。**
- **エアクリーナーエレメントに水や油などをつけないでください。水や油などが付着して汚れているものは交換してください。**
- **エアクリーナーエレメントの取り付けが悪いと、ゴミやほこりがエンジン内部に入り、摩耗や出力低下を起こして耐久性に影響を与えます。確実に取り付けてください。**
- **洗車時にエアクリーナーケースに水を入れないでください。内部に水が入ると、始動不良などの原因になります。**
- **著しくほこりなどの多い場所を走行したときは、定期点検期間より早めに点検、清掃を行ってください。**

7. エアクリーナーケースカバーを取り付け、ボルトを締め付けます。

JAU30981

タイヤ

空気圧



タイヤ接地部のたわみ状態により空気圧が不足していないかを点検します。たわみ状態が異常なときは、タイヤゲージで点検し、正規の空気圧にしてください。

タイヤ空気圧：

1名乗車：

前輪：

150 kPa (1.50 kgf/cm²)

後輪：

200 kPa (2.00 kgf/cm²)

積載時：

前輪：

150 kPa (1.50 kgf/cm²)

後輪：

225 kPa (2.25 kgf/cm²)

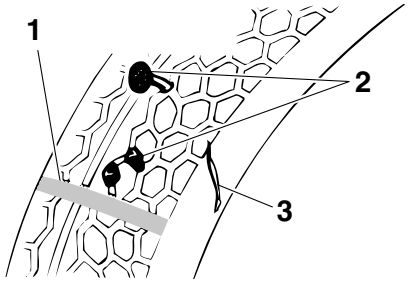
要　点

- タイヤの空気圧は徐々に低下します。見た目には不足していることが判りにくいタイヤもあり、少なくとも1か月に一度はタイヤゲージを使用して空気圧の点検を行ってください。
- 空気圧の確認は、タイヤが冷えているときに行ってください。走行後はタイヤが暖まっており、空気圧が高くなります。

JAU28581

タイヤの亀裂、損傷の点検

タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷がないか、また、釘、石、その他の異物が刺さっていないかを点検します。



1. ウェアインジケーター（摩耗限度表示）
2. 異物（釘、石など）
3. 亀裂、損傷

要　点

道路の縁石などにタイヤ側面を接触させたり、大きなくぼみや突起物を乗り越したときは、必ず点検してください。

JAU28700

タイヤの異常な摩耗

タイヤの接地面が異常に摩耗していないかを点検します。

JAU28741

タイヤの溝の深さ

タイヤの溝の深さをウェアインジケーターで点検します。ウェアインジケーターがあらわれたら、タイヤを交換してください。

要　点

- ウェアインジケーターはタイヤの溝が0．8 mmになるとあらわれます。
- 安定したコーナリングや操縦性などを確保して安全な走行を行うため、タイヤの溝には充分注意してください。一般的に原付のタイヤは前輪、後輪とも溝の深さが1．6 mm以下になりましたら交換をおすすめします。

JWA11911

⚠警　告

- **異なった種類のタイヤや指定サイズ以外のタイヤを使用することは、車の安全走行に悪影響がありますので使用しないでください。**
- **過度にすり減ったタイヤの使用や不適正な空気圧での運転は、転倒事故などを起こす原因となることがあります。取扱説明書に記載された空気圧を守り、過度にすり減ったタイヤは交換してください。**
- **タイヤに異常があると、操縦安定性に影響をおよぼしたりパンクの原因になります。異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。**

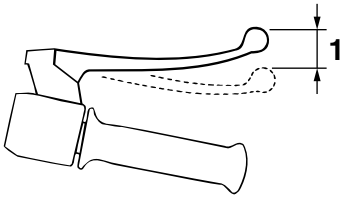
タイヤサイズ：
前輪：
2.25-17 33L
後輪：
2.50-17 38L
指定タイヤ：
前輪：
IRC
後輪：
IRC

JAU31131

ブレーキレバーの遊び／ブレーキペダルの遊び、およびブレーキのきき具合の点検

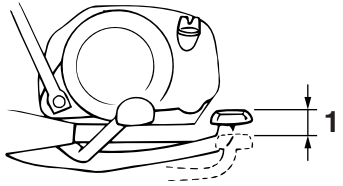
ブレーキの遊びの点検

＜前輪ブレーキ＞
ブレーキレバーを軽く握り、抵抗を感じるまでのレバー先端部の遊びが　10.0–20.0 mm の範囲にあるかを点検します。



1. 遊び

＜後輪ブレーキ＞
ブレーキペダルを軽く押し、抵抗を感じるまでの遊びが 20.0–30.0 mm の範囲にあるかを点検します。

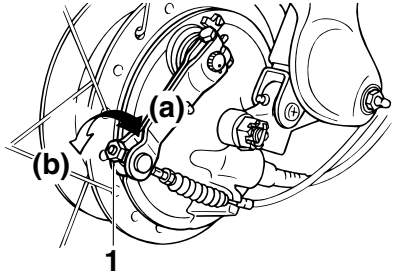


1. 遊び

点検の結果調整が必要な場合は、アジャスターで調整します。

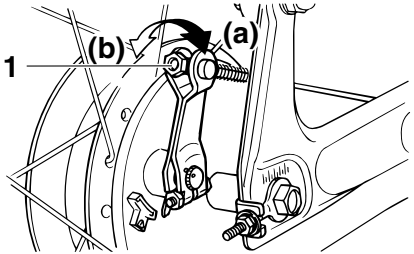
1. アジャスターを時計回り（a）に回すと、遊びが少なくなります。
2. アジャスターを時計回り反時計回り（b）に回すと、遊びが多くなります。

前輪ブレーキ



1. アジャスター

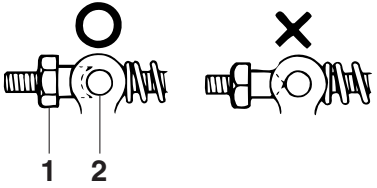
後輪ブレーキ



1. アジャスター

要　点

アジャスターは、必ずピンとかみ合わせてください。



1. アジャスター
2. ピン

JWA11850

⚠警　告

ブレーキ調整後は、必ずブレーキランプの点灯とタイミング、ブレーキの引きずりがないかを確認してください。

ブレーキのきき具合の点検

乾いた路面を走行し、前輪ブレーキ、後輪ブレーキを別々に作動させたときのきき具合を点検します。

ブレーキのきき具合が悪いときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JWA11760

⚠警　告

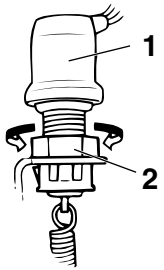
走行して点検するときは、交通状況に注意し、低速で走行しながら行ってください。

JAU22270

ブレーキランプスイッチ

ブレーキがきき始める直前にブレーキランプが点灯するか点検します。

リヤブレーキランプスイッチの調整は、スイッチを指で押さえ、アジャスターを回して行います。



1. リヤブレーキランプスイッチ
2. アジャスター

JCA12080

⚠注　意

リヤブレーキランプスイッチを調整するときは、スイッチ本体を回さないでください。スイッチ本体を回すと、リード線を傷付けます。

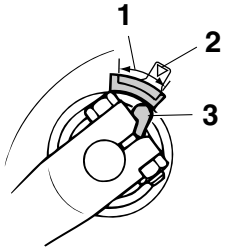
フロントブレーキをかけたときもブレーキランプが点灯するか点検します。

異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU29750

ブレーキシューの摩耗点検

ブレーキシューの摩耗の状態を点検します。ブレーキレバーをいっぱいに握ったとき、またはブレーキペダルをいっぱいに踏み込んだとき、インジケーターがシュープレートの使用範囲を外れるとブレーキシューの使用限度です。



1. 使用範囲
2. ドラムインジケーター（ヤマハ販売店整備用）
3. インジケーター

ヤマハ販売店で交換・整備を受けてください。

JWA11830

⚠警　告

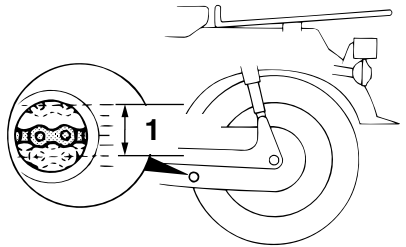
ブレーキシューの交換時には、ブレーキシューのテンションスプリングも同時に交換してください。

JAU22760

ドライブチェーン

JAU30391

ドライブチェーンの点検



1. ドライブチェーンのたわみ量

メインスタンドを立て、点検窓からチェーンを手で上下に動かし、たわみ量が規定の範囲にあるかをスケールあるいはチェーンケースの目盛などで点検します。
(チェーンケースの1目盛は 5mm です。)

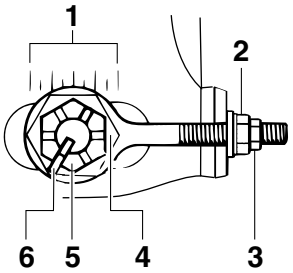
ドライブチェーンたわみ量：
20.0–25.0 mm

また、リヤホイールを浮かし、タイヤを手でゆっくり回しながらチェーンが滑らかに回転するか、給油は充分かを点検します。

JAU22880

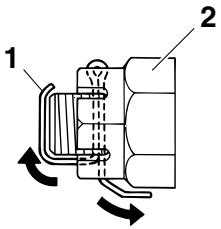
チェーンの張り調整

1. コッターピンを外し、アクスルナット、アクスルスプロケットナットをゆるめます。



1. 刻み目盛り
2. アジャスター
3. ロックナット
4. アクスルスプロケットナット
5. アクスルナット
6. コッタピン

2. ロックナットをゆるめ、アジャスターで左右均等に締め込みます。(刻み目盛りを左右同位置にします。)
3. 張り具合が規定値になるように調整します。
4. 調整後、アクスルスプロケットナット、アクスルナットおよびロックナットを確実に締め付けます。
5. コッターピンを取り付け、足をボルトとナットに添わせて曲げます。



1. コッタピン
2. アクスルナット

JWA11890

警 告

- **取り付けるコッターピンは新品を使用してください。**
- **ドライブチェーンの調整後は、必ずブレーキ調整を行ってください。**

JAU28590

ドライブチェーンの給油

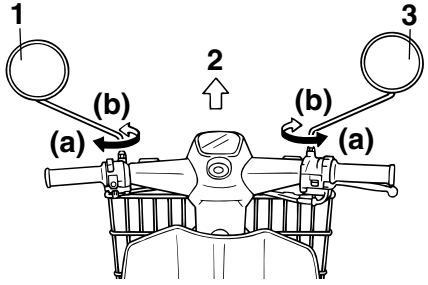
1. リヤホイールを浮かし、ホイールを手でゆっくり回しながらチェーンに付着した泥や汚れを、柔らかいブラシなどで落とします。その後、ME スーパーチェーンクリーナーで洗浄します。
2. チェーンを乾燥させた後、リヤホイールを手でゆっくり回しながら、チェーンに ME-180 チェーンオイルを給油します。

JAU28601

バックミラー

バックミラーの取り付けおよび取り外しかた

● 右バックミラーは左ネジです。
反時計回り（a）に回すと締まります。
時計回り（b）に回すとゆるみます。
● 左バックミラーは右ネジです。
時計回り（a）に回すと締まります。
反時計回り（b）に回すとゆるみます。



1. 左バックミラー
2. 進行方向
3. 右バックミラー

JAU28620

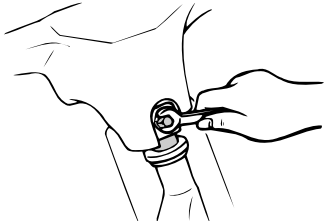
車体各部の給油脂状態の点検

車体各部の給油脂状態が充分であるかを点検します。
異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU28650

アンダーブラケットの取り付け状態の点検（ステアリングステム）

アンダーブラケットの締付ボルトまたは締付ナットに、ゆるみがないかを工具で点検します。



締付ボルトまたは締付ナットにゆるみがあるときは、ヤマハ販売店で規定トルクでの締め付けを依頼してください。

JAU28761

バッテリー

バッテリーの点検

この車のバッテリーは密閉式です。
バッテリー液の補充、点検は不要です。
バッテリーに異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。
バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、バッテリーを取り外して清掃します。

JWA11810

⚠警　告

バッテリーは引火性ガス（水素ガス）を発生しますので、取り扱いを誤ると爆発し、ケガをすることがあります。次の点を必ず守ってください。

- **火気厳禁です。ショートやスパークさせたり、タバコなどの火気を近づけないでください。爆発のおそれがあります。**
- **補充電は風通しのよいところで行ってください。**
- **ガソリン、油、有機溶剤などを付着させないでください。電そう割れの原因となることがあります。**
- **落下などの強い衝撃を加えないでください。**
- **バッテリー液は希硫酸です。皮膚、目、衣服などに付着すると、重大な傷害を受けることがあります。**
- **子供の手の届くところに置かないでください。**

応急手当

- **万一、バッテリー液が皮膚、衣服などについたときはすぐに多量の水で洗い流してください。**
- **目に入ったときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。**

JCA12141

⚠注　意

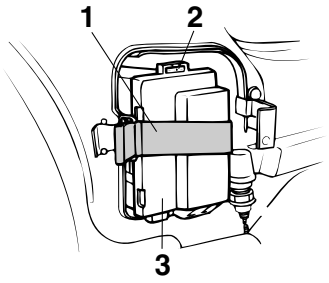
- **このバッテリーは密閉式の 12V です。**
- **このバッテリーは液入り充電済です。液量点検および補水は必要ありません。**
- **補充電には、密閉式バッテリー専用充電器を使用してください。くわしくはヤマハ販売店にご相談ください。**
- **長期間ご使用にならないときは、3 か月ごとに補充電してください。**
- **バッテリーを交換するときは、必ず同型式のバッテリーを使用してください。**

JAU29120

バッテリーの取り外し

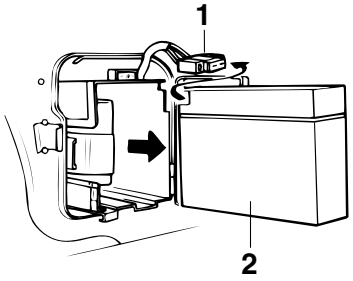
1. カバーB を取り外します。（カバーの取り外しは 6-2 ページ参照）

2. バッテリーバンドを外し、バッテリーケースカバーを開けます。



1. バッテリーバンド
2. スペアヒューズ
3. バッテリーケースカバー

3. バッテリーケースからバッテリーを引き出します。
4. コネクターを抜き、バッテリーを取り外します。



1. コネクター
2. バッテリー

要　点

バッテリーからコネクターを抜くときは、コネクターの中央を押さえてください。

バッテリーの取り付け

取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

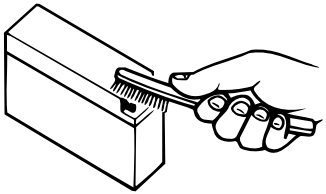
要　点

バッテリーを格納するときは、コネクターリード線をバッテリーと本体の間にはさみこまないようにしてください。

JAU29410

ターミナル部の清掃

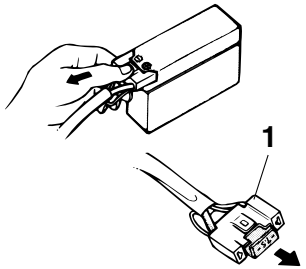
バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、やわらかいブラシなどで清掃します。また、白い粉がついているときは、ぬるま湯を注いでよくふき取ります。



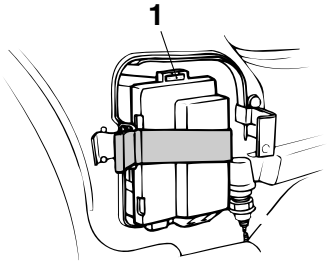
JAU23453

ヒューズの交換

ヒューズはバッテリーリード線のコネクターにセットされています。



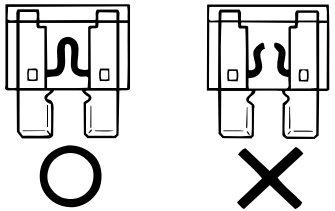
1. コネクター



1. スペアヒューズ

ヒューズが切れたときは、以下のように交換します。

1. メインスイッチを OFF にします。
2. 切れたヒューズを外し、規定アンペア数の新しいヒューズを取り付けます。



規定ヒューズ：
10.0 A

JCA12860

⚠注　意

- **交換するヒューズは、規格外のものを使用しないでください。**
- **指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱や焼損の原因になります。**
- **電装品類（ライト、計器など）を取り付けるときは、車種ごとに決められている「ヤマハ純正部品」を使用してください。それ以外のものを使用すると、ヒューズが切れたり、バッテリーあがりを起こすことがあります。**
- **洗車時ヒューズボックスのまわりに水を強く吹き付けないでください。漏電や短絡（ショート）の原因になります。**

3. メインスイッチを ON にし、電気回路をオンにして装置が作動することを点検します。
4. ヒューズを交換してもすぐに切れるときは、ヤマハ販売店で電気系統の点検を受けてください。

JAU29470

灯火装置および方向指示灯の点検

1. エンジンを始動します。
2. ヘッドライト、テールランプ、ブレーキランプなどの灯火装置や方向指示灯の点灯・点滅具合が良好かを点検します。
3. レンズなどに汚れや損傷がないかを点検します。

点灯しないときはヒューズを点検（6-15ページを参照）し、異常がないときは電球を交換（「製品仕様」のページを参照）してください。

JCA12060

⚠注　意

電球は、正規の規格と同じものと交換してください。これ以外のものを使用すると、球切れ、作動不良などの原因となります。

JAU29570

運行において異常が認められた箇所の点検

運行中に異常を認めた箇所について、運行に支障がないかを点検します。

お車の手入れ

JAU27780

いつまでも車を長持ちさせるために、お手入れをしてください。
すみずみまで掃除すれば、普段気付かない異常箇所や摩耗が発見でき、故障の予防にもなります。

JAU27880

洗 車

雨天走行後など、車が汚れたときは早めに洗車してください。車をサビやキズから守ります。

- 中性洗剤を使用して充分に水洗いします。
- 柔らかい布で、車に付着した水分をよくふきとります。
- スチーム洗車や水道ホースなどで、車に直接圧力をかける洗車をしないでください。キズの原因になります。
- 洗車後、必要に応じて各部にグリースなどを注油してください。



JWA11940

⚠警 告

- **洗車はエンジンが冷えているときにしてください。**
- **洗車時、ブレーキドラムに直接水をかけないでください。ドラム内に水が入ると、ブレーキの制動力が低下し、一時的にブレーキが効かなくなることがあります。特に寒冷地では充分注意してください。**
- **洗車後、ブレーキの効きが悪くなることがあります。効きが悪いときは、前後の車に充分注意しながら低速で走行し、効きが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させて、ブレーキの湿りをかわかしてください。**

JCA12210

⚠注 意

- **エアクリーナーや電装品などに水が入らないように注意してください。故障の原因になります。**
- **マフラー内部に水がたまると、始動不良やサビの原因になることがあります。洗車時はビニール袋をかけるなどして、内部に水が入らないようにしてください。**
- **コンパウンドの入ったワックスは、プラスチック部分を傷つけますので使用しないでください。**

要 点

サイドカバー付近に水を強くかけないでください。内部に水が入り、書類が濡れること

7

があります。

JAU28062

保管のしかた

車はできるだけ敷地内に保管し、屋外に駐車するときはボディーカバーをかけてください。

なお、ボディーカバーはマフラーが冷えてからかけてください。

JCA12432

⚠注　意

長期間お乗りにならないときは、以下のことを守ってください。

- **保管する前にワックスがけをしてください。サビを防ぐ効果があります。**
- **キャブレター内のガソリンをすべて抜き取ってください。内部のつまりなどを防ぎます。**
- **バッテリーを取り外し、充電器で満充電にした後、湿気のない涼しい場所に保管してください。また、バッテリーの劣化を抑えるため、3か月ごとに補充電を行ってください。**
- **長期保管後の走行前には、バッテリーの充電、および各部の点検をしてください。**

※補充電およびガソリンの抜き取りは、ヤマハ販売店にご相談ください。

JAU28080

アフターケア用品について

大切な車の寿命は、使用するオイルの品質により大きく左右されます。ヤマハの車には、ヤマハ純正用品をご使用ください。

JAU28130

オートルーブスーパービジネスオイル

燃焼性に優れた高純度化学合成油に、走行・停止の多い業務に合わせた添加剤を配合したオイルです。不完全燃焼によるカーボンの発生を抑えますので、マフラーの詰まりを大幅に低減します。



JAU28151

オートルーブスーパーオイル

ヤマハの2ストロークエンジンにはヤマハオートルーブスーパーオイルをご使用ください。

オートルーブスーパーオイルはヤマハの2

ストロークエンジンのために開発されたエンジンオイルです。



JAU28190

ME-R フィルターオイル

ヤマハコンペティションモデル専用に開発したフィルターオイルです。火山灰、サンド、赤土、泥ねい、泥水など、全日本 MX ラウンド全ての状況を考慮して開発・テストしてありますので、車は常に優れた性能を発揮できます。



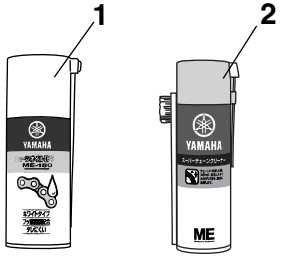
JAU28220

ME-180 チェーンオイル

フッ素樹脂配合により耐摩耗性、耐熱性に優れたチェーンオイルです。“ドライ”と“ウェットムースタイプ”があります。

ME スーパーチェーンクリーナー

チェーンに付着したグリースやオイルなどの油汚れを手軽に素早くクリーニングします。



1. ME–180 チェーンオイル
2. ME スーパーチェーンクリーナー

JAU28270

ギヤオイル

極圧性、酸化安定性に優れ、油膜強度が高いギヤオイルです。アワ立ちもきわめて少ないため、ベアリングの腐食や摩耗を防ぎます。



JAU28360

ユニコンカークリーム（ワックス）
塗装面の汚れを簡単にとり、手間をかけずに美しい光沢が得られます。また、どんな塗装にも使用できる伸びのよいワックスです。

ME-180（防錆潤滑剤）
防錆、潤滑、防湿、浸透力に優れた金属保護液です。



1. ユニコンカークリーム
2. ME–180（防錆潤滑剤）

製品仕様

JAU2633E

寸法：

全長：
1845 mm
全幅：
665 mm
全高：
1030 mm
シート高：
740 mm
軸間距離：
1175 mm
最低地上高：
140 mm

重量：

車両重量：
97 kg
分布荷重 （前）：
39 kg
分布荷重 （後）：
58 kg
車両総重量：
152 kg
分布荷重 （前）：
59 kg
分布荷重 （後）：
93 kg

乗車定員：
1 名

性能：

定地燃費 （国土交通省届出値）：
80.0 km/L/30 km/h
最小回転半径：
1800 mm
最高出力：
3.5 kW@6000 r/min
(4.7 PS@6000 r/min)
最大トルク：
5.9 Nm@5000 r/min
(0.60 kgf-m@5000 r/min)

エンジン：

原動機種類：
2ストローク空冷
気筒数・配列：
単気筒
総排気量：
49.0 cm^3
内径 x 行程：
40.0 × 39.7 mm
圧縮比：
6.40 :1
エアフィルターエレメント：
湿式エレメント
クラッチ形式：
湿式多板オートマチック
ミッション・チェンジ方式：
常時かみ合式 3 速
始動方式：
キック式

車体：

フレーム形式：
プレスバックボーン
キャスター：
27.00 °
トレール：
80.0 mm

ステアリングシステム：

ハンドル切れ角 （左）：
45.0 °
ハンドル切れ角 （右）：
45.0 °

燃料：

フューエルタンク容量：
5.0 L
予備容量：
0.7 L

フロントブレーキ：

ブレーキ形式：
機械式ドラムブレーキ

8

リヤブレーキ :
ブレーキ形式 :
機械式ドラムブレーキ
懸架方式 :
種類 （前）:
ボトムリンク
種類 （後）:
スイングアーム
緩衝方式 :
ショックアブソーバータイプ （前）:
コイルスプリング / オイルダンパ
ショックアブソーバータイプ （後）:
コイルスプリング / オイルダンパ
フロントタイヤ :
種類 :
チューブ有り
サイズ :
2.25-17 33L
メーカー / 銘柄 :
IRC
リヤタイヤ :
種類 :
チューブ有り
サイズ :
2.50-17 38L
メーカー / 銘柄 :
IRC
トランスミッション :
1 次減速比 :
68/19 (3.578)
1 速 :
39/12 (3.250)
2 速 :
29/16 (1.812)
3 速 :
24/20 (1.200)
2 次減速比 :
41/12 (3.416)
エレクトリカル :
点火方式 :
ＤＣ．ＣＤＩ
ヘッドライト :
ヘッドライト球 :
キセノンバルブ
バルブワット数 x 個数 :
ヘッドライト :
12 V, 30 W/30.0 W × 1
テール / ブレーキランプ :
12 V, 5.0 W/21.0 W × 1
方向指示灯 （前）:
12 V, 10.0 W × 2
方向指示灯 （後）:
12 V, 10.0 W × 2
メーター灯 :
12 V, 1.7 W × 1
手元灯 :
12 V, 3.4 W × 1
パイロットランプワット数 / 個数 :
ニュートラルランプ :
12 V, 1.7 W × 1
オイル残量警告灯 :
12 V, 1.7 W × 1
速度警告灯 :
LED
エンジンオイル容量 :
オイルタンク容量 :
1.2 L
トランスミッションオイル :
定期交換時 :
0.65 L
エンジン分解時 :
0.70 L
ドライブチェーン :
たわみ量 :
20.0–25.0 mm

製品仕様

ブレーキレバーとブレーキペダル:
フロントブレーキレバー遊び:
10.0–20.0 mm
ブレーキペダル遊び:
20.0–30.0 mm
スロットルケーブル遊び:
5.0–7.0 mm
フロントドラムブレーキ:
ライニング厚さ:
4.0 mm
使用限度:
2.0 mm
リヤドラムブレーキ:
ライニング厚さ:
4.0 mm
使用限度:
2.0 mm
ホイールトラベル:
ホイールトラベル （前）:
81.0 mm
ホイールトラベル （後）:
58.0 mm
タイヤ空気圧 （冷間時）:
前輪 （1名乗車）:
150 kPa (1.50 kgf/cm^2)
後輪 （1名乗車）:
200 kPa (2.00 kgf/cm^2)
積載時 前輪:
150 kPa (1.50 kgf/cm^2)
積載時 後輪:
225 kPa (2.25 kgf/cm^2)
バッテリー:
バッテリー型式:
GT4B-5
バッテリー容量:
12 V, 2.5 Ah
点火タイミング:
点火時期 （B．T．D．C.）:
12.0°/1500 r/min
スパークプラグ:
メーカー / 型式:
NGK/BR7HS
メーカー / 型式:
DENSO/W22FSR
プラグギャップ:
0.6–0.7 mm
ヒューズ容量:
メイン:
10.0 A

JAU36640

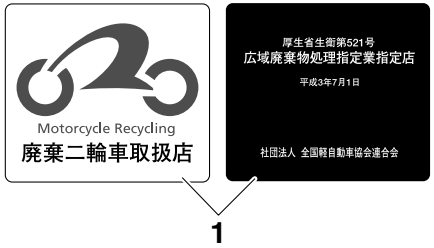
二輪車を廃棄する場合は？

廃棄を希望する場合は？

廃棄を希望される二輪車がある場合は、お近くの「廃棄二輪車取扱店」にご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは？

（社）全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されているお店が「廃棄二輪車取扱店」です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口として、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



1. 廃棄二輪車取扱店の証

リサイクル費用とは？

廃棄二輪車を適正に処理し、再資源化する費用です。二輪車リサイクルマークが車体に貼付されている二輪車は、リサイクル費用をメーカー希望小売価格に含んでいますので、リサイクル料金はいただきません。

ただし、リサイクル費用には運搬および収集料金は含まれていませんので、廃棄二輪車取扱店または指定引取場所までの運搬・収集料金は、お客様の負担になります。運搬・収集料金につきましては、廃棄二輪車取扱店にご相談ください。

二輪車リサイクルマークの取り扱い

この車には、下図の位置に二輪車リサイクルマークが貼付されています。

廃棄時に二輪車リサイクルマークの有無を確認しますので、絶対に剥がさないでください。二輪車リサイクルマークは、剥がれや破損による再発行、部品販売の取り扱いはございません。

剥がれや破損でリサイクルマーク付き対象車かどうかが不明の場合は、下記へお問い合わせください。



1. 二輪車リサイクルマーク

廃棄二輪車に関するお問い合わせについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」または下記へお問い合わせください。

（財）自動車リサイクル促進センターホームページ

http://www.jarc.or.jp/

二輪車リサイクルコールセンター

電話番号　０３－３５９８－８０７５

受付時間　９時３０分～１７時００分（土・日・祝日・年末年始等を除く）

ユーザー情報

JAU28370

サービスマニュアル(別売)の紹介

サービスマニュアルには、点検・調整や分解･組立の方法を写真やイラストを用いて説明してあります。車の概要や構造を理解するためにご利用ください。
サービスマニュアルのご注文は、ヤマハ販売店で受けております。部品番号をお知らせください。

メイト (V50/V50D/V50N)
サービスマニュアル　部品番号：
基本版：
QQS-CLT-000-4AV
追補版：
QQS-CLT-010-4AV
QQS-CLT-011-4AV

※追補版は、マイナーチェンジなどで機構に変更があったときに、その変更部分のみを説明したサービスマニュアルです。基本版とあわせてご使用ください。

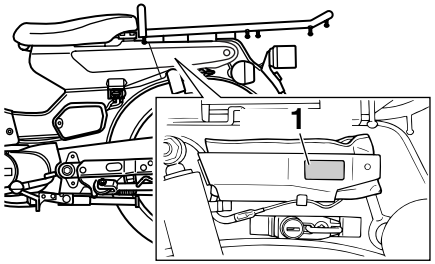
JAU28410

車両情報

モデルラベル

パーツオーダー、アフターサービスなどに使用します。

モデルラベルは、あなたの車を正確に特定するための情報をコード化したものです。ご相談の際には、車名およびモデルラベルの内容を正確にご連絡ください。
モデルラベルは、リヤキャリア下部のサイドカバー左を取り外すと、フレームに貼り付けてあります。

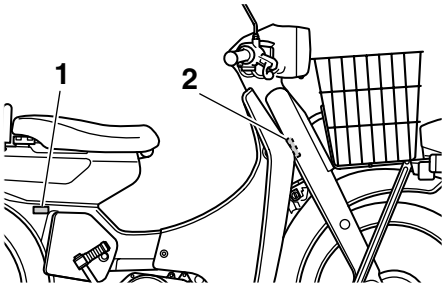


1. モデルラベル

あなたの車の情報を記入し、控えにしてください。
車名は
メイト V50N
モデルラベル
製品仕様を示しています。
○
カラーリングを示しています。
●

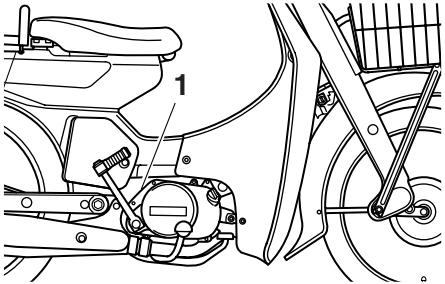
車台番号、原動機番号、型式認定番号
ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。

詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。



1. 型式認定番号
2. 車台番号

9



1. 原動機番号

あなたの街のあなたのお店

最寄りのお客様相談窓口については、メンテナンスノートの巻末をご覧ください。

QQS-CLT-109-4AV

再生紙を使用しています

YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社
〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

PRINTED IN JAPAN
2005.8-1.0 × 1
(J)